

横浜港大さん橋国際旅客船ターミナルの再整備が 旅客船の増加と港の魅力アップによる活性化を生む

よこはま
file08 **横浜港**

対象施設 大さん橋地区国際旅客船ターミナル 岸壁（-10m~-11m）
供用 平成14年

横浜港の中心に位置し、最も歴史のある大さん橋の再整備にあたり、新しい旅客船ターミナルは国際建築設計競技の最優秀作品をもとに整備が進められ、その斬新なデザインは内外から注目を集めている。新施設のオープンにより客船の入港が増加するとともに、大さん橋ホールでは様々なイベントが開催され、また、屋上の24時間開放の広場は、港の景観を360度のパノラマで見ることができることから、新しい観光スポットとして横浜港の魅力をさらに向上させ、港のにぎわいと活性化に寄与している。



●整備後の旅客船ターミナル

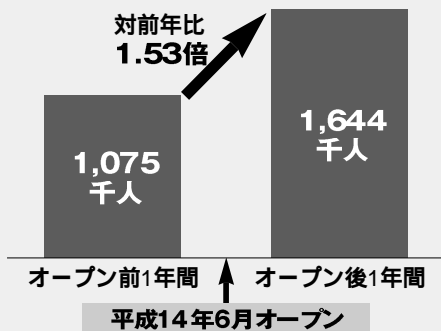


2004年1月4日大さん橋ふ頭に、日本を代表する豪華客船が同時に3隻接岸。左奥：飛鳥（28,856総トン）右奥：ばしふいっくびいなす（26,518総トン）右手前：にっぽん丸（21,903総トン）



2004年2月14日横浜初入港のクリスタルセレニティ（バハマ船籍28,870総トン）の歓迎セレモニーのスナップ

●オープン前後の施設利用者数変化



●客船入港実績

